

琢

成

玉不琢

不成器

人不学 不知道

学校通信
令和 7年11月14日
NO. 8 (臨時号)
酒田市立琢成小学校



For the next 50 years!



次の 50 年に向けて！

11月21日（金）は、創立50周年記念の琢成祭です。すでにお知らせしている通り、今回は各学年がそれぞれの場所でプレゼンテーションを行います。いつもの琢成祭とは違います。50周年の節目にアントレプレナーシップ教育を導入し、生活科・総合的な学習の時間に取り組んでいることの中間発表です。



今回の琢成祭はねらいが2つあります。

1つ目は、生活科・総合的な学習の時間に取り組んできたことの成果を、見て聴いていただくことです。伝えたい人がいる、という相手意識を持つことで、伝える内容やことば選びも洗練されます。

2つ目は、子どもたちが伝えたことに対して、参観した保護者の皆様から感想や意見、助言等、何かしらフィードバックしていただくことです。伝えたことに対する反応が、子どもたちにとって充実感や次の学びへの意欲につながります。



そこで、当日参観される保護者の皆様にお願いがあります。今回の琢成祭は上記のようなねらいをもって行うため、次のことをお願いします。

①参観ではなく、一緒に考える学びの伴走者として参加していただかとありがたいです。周りにいる大人は、自分と一緒に考えたり応援したりしてくれるという意識が、新しいことに挑戦しようという気持ちを伸ばします。



②可能な限り、お子さんが在籍していない他の学年のプレゼンテーションも見ていただきたいです。身内ではない人に褒められたり認められたりすることを通して、子どもたちは自己有用感や自尊感情といった非認知能力を伸ばします。自分で社会を歩いていく力を身につけていきます。

つまり、家庭・地域・学校がともに子どもの学びを応援していく、これからの中の琢成の新しい学びの姿にふれる一日としたいと考えています。

これまでのステージ発表よりも、一人一人の子どもたちの姿が近くで見えます。一人一人の思いや考えがその場で伝わってきます。聞いた後すぐに声をかけることができます。そんな良さを感じながら、子どもたちの発表にふれてほしいと願っています。お忙しい中ではありますが、ぜひたくさんの方々の保護者の皆様に来ていただきますようお願い申し上げます。



次の50年の子どもたちのために、ともに新しい学びをつくっていきましょう！





ここまで進んでいます！

20251008版

生活科・・・・・・・1・2年生に設けられている教科で、具体的な体験活動を通して自分や周りの人、社会、自然について学び、自立を育むことをねらいとしています。

総合的な学習の時間・・・「なぜだろう？」と考え、調べたり話し合ったり、体験したりしながら社会や自然のこと、自分自身の将来のことについて学ぶ時間です。

◆各学年のこれまでとこれからの取り組みについて紹介します。



1年生 みんななかよし

- ・先生方や上級生に インタビューしたり、校内を探検したりしました。
- ・アサガオを育てて成長を観察しています。芽が出た、本葉が出た、葉っぱが増えてきた、紫色の花が咲いた・・・毎日一生懸命に水やりをして、毎日の変化を喜んで観察していました。



- ・自分の身の回りには色々なものや人がいること、生き物や植物を大切にすることを、周りの人やものにたくさんかかわることで学び、自分たちの視野を広げています。



2年生 ジャンプまちのたんけんたい

- ・身近な場所やそこで働く人々にふれる活動に取り組んでいます。1年生の時の活動からかかわりの範囲を広げています。
- ・1学期はみんなで学区にある施設やお店等を回りました。見てきたことや気づいたことを地図にまとめ、紹介することに取り組みました。
- ・今度は、自分のお気に入りの場所や言ってみたい場所を詳しく調べてみます。自分で選んでいくところですから、見え方が以前と違うはずですね。自分から進んで場所や人にかかわることで、地域への愛着が大きくなると思います。



4年生 にじいろどんぐりの森プロジェクト

- ・どんぐりが好き、どんぐりの魅力をみんなに知ってほしいという強い思いから、2年越しのプロジェクトに取り組んでいます。
- ・街に出かけてどんぐりに関するアンケートを取ったり、どんぐりを使った「どんぐり祭り」を考えたりしています。
- ・さて、どんぐりの魅力ってなんでしょうね。当たり前にあるものの魅力を深堀して考えるなんて素敵なことです。このプロジェクトの未来をどう描くのでしょうか。きっと大人が思いつかないことを考えるんだろうなあ。楽しみです♪



3年生 庄内米の魅力を伝えよう

- ・コメの品種について調べたり、自分たちで田植えや稲刈りの体験をしたりしています。3年生が地域の主要農業である米作りについて学習することはとても珍しい取り組みです。
- ・コメのことを詳しく調べているうちに、品種ごとに合うおかずを考えてみようと考えています。おいしいご飯の食べ方を考えることを通して、庄内米の魅力を発信していくこうとしています。3年生らしい面白い発想で活動を進めています。



5年生 自然プロジェクト

- ・「自然」とは何かという問い合わせから出発し、色々なものがかかわって循環していることに気がつきました。
- ・理科「魚のたんじょう」で学んだメダカのことと、社会科「米作りのさかんな地域」で学んだ米作りのことをつなげて、生き物と農業のかかわりや循環について考えました。
- ・小さなビオトープや地球のモデルを作り、自然の中のつながりや循環が見えるような取り組みも始めました。
- ・子ども達が考える自然は、どんな姿でしょうか。



6年生 酒田のまつりを深く調べよう

- ・酒田まつりに参加したことをきっかけに、そもそも酒田まつりってどんな祭なのということから調べることにしました。
- ・祭りにかかわっている方からの聞き取りやタブレット等を使った情報収集をしました。7月11日のアントレDAYでは、県外の起業家の方々に、自分たちが考えていることを伝え、意見をもらい、さらに考えを深めできました。
- ・今後は、酒田市産業振興まちづくりセンター36（サンロク）等とつながりながら、祭りの歴史や魅力をたくさんの人々に伝えていこうと考えています。



十一月二十一日(金)の琢成祭では、中間発表をします。



11月21日(金)の50周年記念の琢成祭では、生活科・総合的な学習の時間の取り組みの中間発表をします。従来の琢成祭のように1学年ずつのステージ発表とは違う形になります。

各教室や特別教室等を使って、活動の様子や気づいたこと、これから取り組もうと考えていることをプレゼンテーションします。保護者の皆様・来賓の皆様には、各教室を回っていただき発表の様子を参観していただくことになります。アントレDAYと同じような形を想像していただくとわかりやすいと思います。

中間発表ですので、できるだけ多くの人に自分たちの考えを伝え、参観してくださった方から今後の活動につながる感想や意見をフィードバックしていただくことを大事にしたいと考えております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。